

第14回「大学コンソーシアム岡山」代表者会議 議事要旨

1. 日 時：平成24年9月11日（火）14時00分～15時30分
2. 場 所：岡山理科大学 50周年記念館 3階 会議室
3. 出席者：10人／18人（その他、代理、随行及び陪席者数 18人）末頁のとおり

（議 事）

会議に先だち、波田会長（岡山理科大学学長）から挨拶があった。

引き続き、泉副会長（岡山経済同友会代表幹事）から、今後も岡山経済同友会と大学コンソーシアムのコラボレーションをお願いしたい、と挨拶があった。

続いて、波田会長から陪席者の紹介がなされた。

波田会長から平成24年1月20日開催の第13回代表者会議の議事要旨（案）の確認が行われ、原案どおり承認された。

（審議事項）

1. 平成23年度収支決算報告について

波田会長の指名により、木村運営委員長（岡山理科大学学外連携推進室副室長）から【資料1】に基づき、平成23年度収支決算書について報告がなされた。5月29日に川崎医科大学長と吉備国際大学長に会計監査いただき了解を得た。

松本委員（吉備国際大学長）から、平成23年度会計監査について5月29日に慎重に厳重に監査し、問題なく承認した旨の報告がなされた。

2. 平成25年度事業計画案について

波田会長の指名により、木村運営委員長から【資料2】に基づき、平成25年度事業計画一覧（案）について説明がなされた。

・大学教育事業部について、対面・遠隔方式の遠隔教育について2つの委員会を通じて細かい検討を行い議論していきたい。カルト問題等学生支援に関する情報交換の場を岡山大学が開催していたが、来年度も継続していただくため委員会で予算等検討いただきたい。

ちゅうぎん『金融知力』講座もコーディネート科目として来年度も継続して行いたい。

・社会人教育事業部について、吉備創生カレッジを継続いただきたい。共同SD講座の実施について、社会人教育事業部の活動として継続して行いたい。

・産学官連携事業部として、学生交流事業の日ようび子ども大学及びエコナイトを市民と連携して継続して行いたい。

・就職活動支援として関係団体等との情報共有、インターンシップの実施を継続して行いたい。

・学生参加として東日本震災復興支援等ボランティア活動を継続して行いたい。

・ホームページやチラシ等を通じて広報活動を継続していきたい。

・来年度はFD講演会をコンソーシアムで実現させたい。予算について、基本的な会費の規模及びオルガノン継承事業費の範囲内で開催に向けて具体的に検討していきたい。

波田会長より、3月までに具体化して来年度に向けて実行委員会および各種委員会で議論される、と補足説明がなされ、平成25年度事業計画案は了承された。

3. 各種委員会内規について

波田会長の指名により、木村運営委員長から【資料3】に基づき、各種委員会の内規について報告がなされた。4つの新規委員会の内規は昨年度設置された就職支援委員会の内容を参考に作成した。第2条審議事項の内容が各委員会において異なる。第6条の内容について、「事務は、委員長選出の大学及び大学コンソーシアム岡山事務局において処理する」に変更されたことについて各種委員会で了承いただいた旨の説明がなされた。

附則について、本日承認された本日の代表者会議の日で施行をお願いしたい旨の提案があり、了承された。

4. 第4期大学コンソーシアム岡山パンフレットについて

波田会長の指名により、木村運営委員長からパンフレット内容のおける説明がなされた。今回は、パンフレットを使用して十分な説明ができるよう組織図、年表などを加え8頁構成で詳細な内容を記載した。パンフレット裏面記載の学部訂正についてお詫びがあった。

(報告事項)

1. 役員の交代について

波田会長の指名により、木村運営委員長から【資料4】に基づき、以下の通り役員の就任及び交代の紹介があった。中原忠男委員（環太平洋大学長）から交代の挨拶があった。

副会長：泉 史博氏（岡山経済同友会代表幹事） ※5月29日付就任
代表者委員：川崎誠治氏（川崎医療福祉大学 学長代行） ※7月1日付交代
代表者委員：中原忠男氏（環太平洋大学長） ※4月1日付交代

続いて、木村運営委員長から運営委員会委員及び平成24年度に新規に発足した4つの委員会と委員について紹介があった。

2. 平成24年度事業経過報告について

波田会長の指名により、単位互換委員会猪口副委員長から【資料5-1】に基づき今年度前期の実施状況についてVODの受講者数が多かった旨の報告がなされた。資料5-1-3、資料5-1-4及びチラシの説明がなされた。対面科目は250科目と科目数が多いため、科目数の厳選等検討を行っている状況であると説明があった。

木村運営委員長から対面・遠隔講義委員会の報告がなされた。5月25日に第1回対面・

遠隔講義委員会が開催された旨の説明があった。大学教育事業部は2つの委員会があり所掌範囲を設けている。対面・遠隔講義委員会は、企画立案及びシステムの検討に関する事項を審議する。単位互換委員会は、教育実施における円滑化実務的な事項について審議する。対面授業科目数の検討、遠隔教育構成の見直し、教育の質保障の取組及び三年後の展開について検討する。VOD提供科目の先生に対する対価の支払いの要望が出ているため、今後本委員会で検討していただきたい。

波田会長の指名により、大槻社会人教育委員長（川崎医科大学 学長補佐）から【資料5-2】に基づき報告がなされた。吉備創生カレッジについて近年は、半期30科目400名程度の受講生があり、歴史・文化科目が人気である。今年度5月から社会人教育委員会のメール会議を行い、科学分野を新設した。2科目で1単位取得できるが、今回20単位取得された3名の方に授与式を行い、9月1日に山陽新聞社で単位認定授与式が行われた。同日同場所で8月31日にSD講演会を吉備創生カレッジと共催で実施した旨の報告がなされた。昨年度までは岡山オルガノンでSD・FD講演会を実施していたが、今年度コンソーシアムで継承し、6月に急遽企画し実施したが、今後も継続していきたい。

渋谷地域貢献委員長から【資料5-3-1】、【資料5-3-2】に基づき、日ようび子ども大学とエコナイトの実施報告がなされた。日ようび子ども大学は、岡山県生涯学習センターで実施した。昨年度より参加者が増えて大変賑わった。エコナイトは加盟校全体で約3,000人が参加した。岡山駅東口広場では、エコキャンドルによる東日本応援日本地図作成、ライブ等を実施した。またエコ短冊を笹に飾ることが一般の方に大変好評であった。その他、ペガサスキャンドル工場見学に学生が参加した。結果、学生、一般の方、関係者等に十分にエコに関するアピールができたイベントであった。

榎本就職支援副委員長（岡山理科大学 キャリアセンター部長）から就職活動について報告がなされた。就職支援委員会では、大学の送り出す側と労働局、中央会など受け入れる側が連携し合同で話し合うことで雇用について解決していくという委員会であるという説明があった。7月に開催した就職支援委員会では労働局から、91.1%が大学就職決定率と発表がなされ、昨年度より3.4%アップという報告があったが、各大学に調査した結果、5月1日現在で県16大学では94.87%という就職決定がされている報告がなされた。その他求人票、公開に関して、卒業後の未就職生に対する支援等話し合いが行われた。

木村運営委員長から【資料5-3-3】に基づきインターンシップについて報告がなされた。今年度4月に経営者協会から岡山県中小企業団体中央会に引継ぎがなされた。岡山県中小企業団体中央会は新規受入企業の開拓を行われ、今年度5月段階で157社受入企業として登録いただいた。今年度は10大学が参加しており、キャンパスウェブに登録した学生は767名である。4月～6月に各大学で事業説明会を開催した。7月14日にイ

ンターンシップ事前研修会を開催し、12大学189名の学生が参加した。キャンパスウェブ登録160社の内100社にインターンシップを行った学生数は8月30日現在で延べ256名であった。3年後コンソーシアムが継承するかもしれないため、80万円の予算を積み立てている。現在事務局が実務的業務を行っているので、継承した場合アルバイト職員の雇用の必要性を踏まえ、予算について就職支援委員会で検討いただきたい。

3. 東日本大震災復興支援ボランティア活動について

木村運営委員長から【資料6】に基づき、東日本大震災復興ボランティアについて報告がなされた。大学コンソーシアム岡山事務局で学生募集を行い、36名の学生が22日から大槌町へボランティア活動に参加した。23日は大槌中学校の後片付けを行った。24日は大槌中学校校長先生のご要望で、生徒にバーベキューを提供した後、校長先生のガイドで被災地を説明いただいた。25日は大槌稲荷神社にあるテント等の後片付けを行った。来年度もボランティア活動が行われるので、大学コンソーシアム岡山も協力したい。

波田会長から次回山陽新聞等に記事が載る際に、「岡山経済同友会が主体で大学コンソーシアム岡山を通じて学生を募集し・・・」と大学コンソーシアム岡山の名称を掲載いただきたい旨の要望があった。

木村運営委員長から、9月19日にRSKテレビで19時～19時55分まで学生のボランティア活動の様子が放映されるので視聴いただきたい旨の補足説明があった。

4. 第9回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム参加報告について

波田会長の指名により、木村運営委員長から【資料7】に基づき、「第9回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」参加の報告がなされた。

5. 平成24年度収支決算（中間報告）について

波田会長の指名により、木村運営委員長から【資料8】に基づき、平成24年度収支決算について適切に執行されている旨の説明がなされた。業務委託費について、現在未執行であるが、岡山理科大学職員として契約している為、1年に1度一括請求がなされ執行される旨の説明がなされた。

・諸会費について2万円赤字になっている。Eu in JAPANの会費が当初の計画になかったが、前年度支払いがなされていた為、今年度支払いを行った旨の報告がなされた。

・事業費について、事業執行の関係上会費から100万円を借用しているため、収入の差額が100万円あるが、年度末に返金する予定である旨の説明がなされた。

(その他)

1. 岡山県大学長懇談会としての議題について

波田会長から、事前に各大学より議題の提出が無かった旨の報告があった。新たに議題の提出を求めたが、今回は提案がなかった。

2. 次回の会議について

波田会長から、本日の会議において審議いただく事項は全てご承認いただいたため、次回は平成25年3月頃開催することが説明され、承認された。

最後に、赤木副会長（山陽学園大学長）から、各委員会を中心に内容を精査し向上していくよう挨拶があった。

以 上